

女子決勝は、四天王寺と遊学館が対戦。試合は白熱した展開となる。

トップで大川(四天王寺)が先取点をあげるが、2番の宮崎(四天王寺)はリズムが掴めず苦しい展開。なんとか立て直して勝利し、四天王寺が王手をかける。ダブルスも四天王ペースで進みゲームカウント2-0でリード。勝負あったと思われたが、ここから遊学館の千葉・出雲ペアがソツのない攻撃で逆転する。4番も出雲(遊学館)が勝利するが、ラストの塩見(四天王寺)の気持ちの入ったプレーが冴え、4連覇を達成した。

「今まで団体戦の経験が少ない選手が活躍してくれました(鈴木は初。宮崎は1試合)。予選リーグから苦しい試合が続きましたが、勝ち上がるにつれて調子を上げてきてくれたと思います。特に宮崎は大車輪の活躍だったと思います」と村田監督。

準優勝は、出雲、平川、千葉ら、豊富な練習量がうかがえた遊学館。3位は、谷渡らが活躍した富田、しっかりと仕上げてきた愛み大瑞穂だった。



打点が良いフォアハンドの連続攻撃が良く、気持ちの入ったプレーをみせた塩見真希

女子優勝
四天王寺
(4連覇)



左から村田監督、塩見、宮崎、鈴木、宮野、大川、三浦

男子決勝は、愛工大名電と野田学園が対戦。田中(愛工大名電)が先取点を上げるも、2番は戸上(野田学園)がゲームオールで制す。ダブルスは田中・加山(愛工大名電)が勝利し、4・5番は2台同時進行で行われ、先に5番は野田学園が勝利する。4番の田原(愛工大名電)と宮川は接戦となるが、田原の思い切りの良い両ハンド攻撃が決まり、愛工大名電が優勝した。

「単復に出場した加山、そして田原、橋本がしっかりと準備をしてくれ、勝てなかった場面もありましたが、試合ごとに誰かが役割を果たし、活躍してくれました。また田中は、自分が負けたらチームが苦しくなるという厳しい状況の中、良く頑張ってくれたと思います。率直に、初めて優勝した気分というか、新鮮な優勝です」と今枝監督。

準優勝は野田学園。ベスト4には、質の高いプレーをみせた希望が丘、チーム力が高い遊学館が入った。



左から今枝監督、田中、橋本、田原、加山、中村、堀、堀川

男子優勝
愛工大名電
(4連覇)

常々ダブルスがエースだ、と語る今枝監督。コンビネーションが良く活躍した加山裕(左)・田中佑汰ペア

平成29年度 第45回 全国

高校選抜大会 3月25~28日 福井県営体育館 2018



ミスの少ない安定した攻撃で勝ち星を重ねた千葉菜月



準優勝
遊学館

チーム一丸となった試合内容であった

第3位 愛み大瑞穂

堅実なプレーで勝ち上がった



速攻プレーが良かった野村萌(左)・大島奈々

第3位 富田

元気いっぱい、雰囲気よかった



打点の早い攻撃をコーナーに打ち分けた谷波亜美

シングルス2部 優勝

BEST8

正智深谷
ボールタッチが良かった桑原穂実



希望が丘
威力あるフォアハンド攻撃をみせた稲吉美沙

山陽女子
積極的な攻撃をみせた真鍋雅(左)・村田咲紀

進徳女子
サービスからの両ハンド攻撃に威力があった枝廣瞳

表彰。左から準優勝の西野楓子(昇陽)、優勝の中川遥奈(新見)、山内美輝(広島商)、鈴木南帆(浜松商)

ミスが少なく丁寧なプレーで嬉しい初優勝を飾った中川遥奈

準優勝
野田学園

ベンチにも活気があり、雰囲気よかった



第3位 希望が丘

少人数であったが、チームワークが良く活躍



吉田聖斗(右)・阿部悠人一度打ち出したら止まらないドライブ攻撃が魅力

BEST8

明德義塾
しっかりと回転をかける攻撃で活躍した神野翔太



鶴岡東
軽快な動きからの攻撃が良かった、中橋敬人(左)・星翔太

上宮
力強い両ハンドと粘り強いプレーをみせた、西祥平(右)・岸田竜輝



打点が早く、振り抜かれた両ハンド攻撃は威力満点。戸上隼輔(右)・宮川昌大

第3位 遊学館

試合に出場しないメンバーも気持ちの入った応援で鼓舞した



川村大貴(左)・重村浩人台上処理が上手く、ラリー戦にも強さをみせた

シングルス2部 優勝



表彰。左から準優勝の鈴木慎司(岡崎城西)、優勝の笠垣杏介(福知山成美)、3位の今村竜(都城商)、角川光喜(新庄東)

リーチを活かした連続攻撃をみせた笠垣杏介